



宇都宮黙霖生誕200年記念
令和6年を締めくる専徳寺寄席



ともかくも あなたまかせの 年の暮れ 小林一茶

年の暮れ ともに笑い ともに笑顔で過ごしましょう

番組

ごあいさつ

一、日向亭いっ
「動物園」

一、ジャンボ衣笠
創作落語「黙霖物語」

一、「時そば」

—— 仲入り ——

一、「猫の災難」

一、お楽しみ

以上

ジャンボ衣笠

広島弁爆笑落語で人気者。

令和三年度、広島県観光連盟の

「この人に会ったら元気が出る人」

に選ばれる。

落語で黙霖の歩み知って

「地域の誇り語り継ぐ」

ジャンボ衣笠さん創作



黙霖の足跡を軽妙に語る
ジャンボさん

呉市広長浜出身で、幕
末期に聴力を失いながら
も筆談で尊皇論を説いた
宇都宮黙霖（1824～
97年）の生誕200年を
記念した創作落語を、落
語家のジャンボ衣笠さん
（75）熊野町IIが完成さ
せた。

「黙霖物語」と題し、
約15分。幼くして養子に
出され苦勞を重ねた黙霖
が、広長浜の専徳寺の住
職に引き取られて学問に
励み、吉田松陰に影響を
与える人物になるまでを
軽妙な語り口で伝える。
松陰の門下生で初代総理
大臣の伊藤博文が黙霖を
「先生」と呼んで周囲を
驚かせたエピソードなど
も盛り込んだ。

黙霖の生涯や業績につ
いて学ぶ広南中で初披露
した。約10年前から落語
を指導する同校に依頼さ

れ、半年間、構想を練っ
たという。関連書籍を読
み、ゆかりの寺を訪ねて
話を聞くなどして台本を
仕上げた。「黙霖は地域
の誇り。笑いを交えて語
り継ぐ手伝いをしたい」と
意気込む。（梁曉雨）

中国新聞 2024年10月10日朝刊より

専徳ねっと



主催 嶺宿山 専徳寺

広島県呉市広長浜3-13-21



SENTOKUNET